



みなさん、ついに待ちに待ったデイケア通信第二弾の発行です。前回の作品から大分進歩したと思います。デイケアメンバーが半年かけて作り上げた作品です。みなさん楽しんで読んで下さい。

デイケア報告

デイケアの1日

	デイナイトケア	デイケア	ショートケア
8:00	受付 朝食		
8:30	憩いの時間		
9:20	ラジオ体操		
9:30	朝のミーティング		
10:00	★午前のプログラム★		
11:45	昼食準備		昼休み
12:00	昼食・昼休み		
12:20			帰りのミーティング 終了
13:15	◆午後のプログラム◆		
15:00	会計		
15:10	帰りのミーティング		
15:20	●憩いの時間●	終了	
17:15	夕食		
	憩いの時間		
18:15	終了		

共和病院のデイケアセンターは、ショートケアとデイケアとデイナイトケアがあり、自分の目的や目標にあった過ごし方をしています。

ショートケアは、午前のプログラムだけに参加します。午後から用事があったり仕事がある人が利用しています。

デイケアは午前と午後のプログラムに参加します。自分の居場所探しや仕事につくための準備のためなどいろいろな目的を持った人が来ています。

デイナイトケアは、デイケアのプログラムに加え入浴や朝・夕の食事の提供もあり独り暮らしの人は助かっています。単身の方や家にいても一人の方が憩いの場として利用したり、人と人との交流を図っています。

みんな一人一人が病気を良くするために、努力しています。

デイキャンプ

7月29日。昨年は例年のない猛暑でした。この日も例外なく30度は軽く超えていたので、鉄板の周りは40度を超えていたかもしれません。しかし、猛暑の中決行しました。この日まで実行委員は準備に大奮闘でした。



デイケア始まって以来のバーベキュー大会

1か月ぐらい前から毎日のように昼休みにミーティングを行ない、毎週水曜日の全体ミーティングではみんなの意見を収集しました。そしてついに実行される日がきました。

午前中には前日にみんなで買っておいだ材料を切り、バスで二つ池公園のデイキャンプ場へ移動、鉄板の上で焼きそばが出来上がりいよいよ食べ始めます。同じお金なら食べなければ損です。みんなお腹をすかせていて鉄板の前に集まりました。ここで実行委員の作戦です。最初に焼きそばを大量に焼いて、そのあとおいしいお肉を焼きました。もちろんカルビです。しかし、この作戦に一番はまったのは実行委員だったかもしれません。焼きそばを食べすぎ、肝心のカルビが食べられなくなってしまった人もいたようです。でもみんなおいしそうに食べていました。最初に1,500円集金しましたが、後で返金され、1,000円ちょっとで楽しめて大成功☆。

アンケート結果

今回のデイキャンプについてアンケートをとりました。参加した人の中では、圧倒的に「もう一度開催したい」という意見が多かったようです。時期的には、7月の末の暑い時期でしたので、5月か10月などの涼しい気候の時期が良いのではないかとする意見が多数でした。そして食費については意外と今回と同じか2,000円位にしてもいいという意見もありました。食べ物も今回と同じ、肉、野菜、焼きそばなどがいいという意見が多かったようです。

デイキャンプに参加しなかった人の意見では用事があったという意見も多数でしたが、暑い時期だったので体調を考えて欠席した方や体力的に自信がなかったと答えた人も多かったです。やはり時期は考えなければいけないと思いました。

このアンケートを参考にして次回のデイキャンプでは改善していきたいと思っていますので、第一回目に参加されなかった方も、この「虹」をみて**今年は多数の参加をお待ちしています。**

てんてん祭り

共和病院の文化祭である、《てんてん祭り2007》が10月6日（土）に秋空の下行われました。今回は『繋ぐ』をテーマに患者さんのもとより家族、地域の方が多数参加しました。催し物としては、フリーマーケットや文化展示、健康チェック、ヨーヨー釣り、スタンプラリーなどが行われました。



我がデイケアからは、**音楽グループ【フレンズ】**がバンド演奏で出演し、「心の旅」、「あの素晴らしい愛をもう一度」、「亜麻色の髪の乙女」、「空も飛べるはず」の4曲を披露して大成功でした。そして、【**デイケアオ**

ールスターズ】のヤングマン&アゲアゲエブリナイトのダンスではデイケアの多数のメンバーが、男子は白のTシャツ、女子はオレンジのTシャツにバンドナを巻いて音楽に合わせて踊って、圧倒的なパフォーマンスにより**見事テーマ賞をGETしました。**その他にも焼きそばや五平餅、ぜんざい、石焼きイモ、綿菓子などの模擬店もあって大盛況でした。次回はどんな催し物が行われるのでしょうか？乞うご期待！

秋の旅行

11月22日(木)にデイケアのメンバーとスタッフと総勢35名で、JR線と地下鉄を利用して名古屋港水族館とイタリア村に行ってきました。当日は快晴でとても気持ち良かったです。班行動で各リーダーを中心にスタッフが1名ずつ付いて行動しました。

旅行後の感想

旅行後に班行動の感想を聞いたら、旅行に行った人の全員が、「旅行に行って良かった」という意見でした。思い出としては「イルカのショーが観れたこと」「ペンギンが見れたこと」「いつもと違う街の風景が良かった」ということでした。**特にイルカのショーが、ダイナミックで楽しめました。**昼食は全員そろってイタリア村で1800円のバイキングを食べました。バイキングについては、「おいしかった」「マナーを守ってしっかり食べました」「パスタがおいしかった」「メニューが多くて食べがいがあった」「いっぱい食べた」「多すぎてびっくりした」ということでした。

行程と時間についての感想では、「予定通り終ってホッとした」「もうちょっと時間に余裕があったらよかった」などがありました。旅行の実行委員をやらしてもらった人からは、「団体行動をまとめるのに苦労した」「やりがいがあった」「集団行動がうまくいき安心し、ホッとした」などの意見がありました。また旅行に行かなかった人からは、「用事があったから」「行ったことがあるから」「お金がないから」「足腰が痛いから」「団体行動が苦手だから」などの理由がありました。全体としては特に問題もなくスムーズに行けたし楽しめたのでよかったですと思います。**みなさんも、機会があったら行ってみたいらどうですか？**

今年の秋の旅行はどこへ行くのでしょうか・・・楽しみですね。



(デイケアメンバーの描いたバイキングの様子です)

皆が知りたい自立支援法

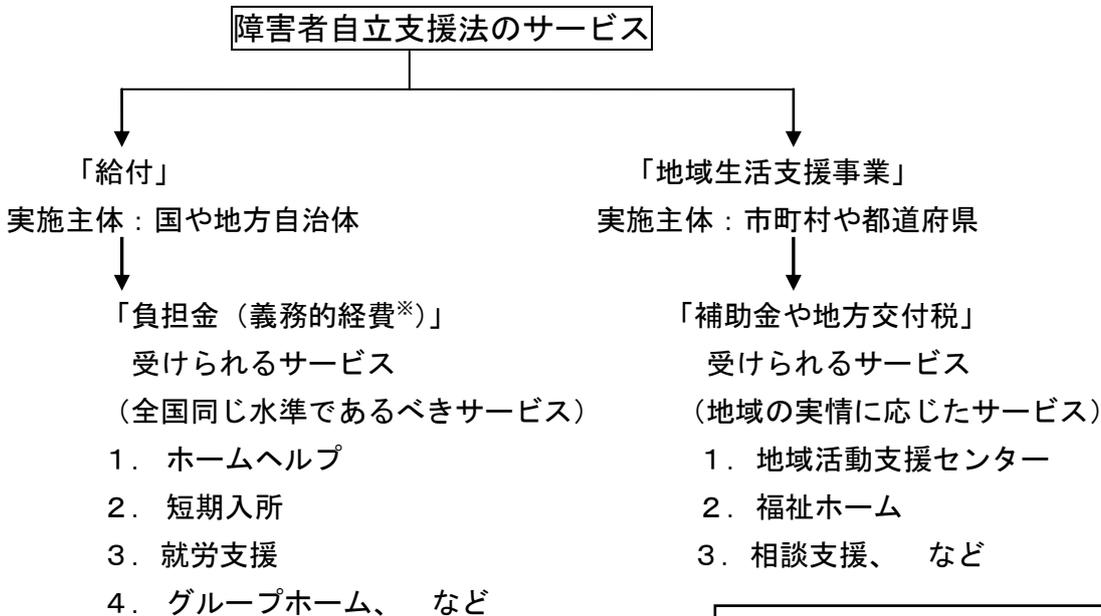
障害者自立支援法による福祉サービス（第2回）

1. 申請は市町村になりました。

精神障害者の福祉サービスは、ホームヘルプなどの在宅サービスが市町村、生活訓練施設や授産施設などの社会復帰施設は都道府県と申請窓口が異なっていましたが、平成18年10月から、障害者自立支援法に基づく福祉サービスはすべて市町村が実施主体となりました。従って今までサービスを受けていた方やこれからサービスを受ける方は、市町村の窓口で申請することになりました。（「精神障害者が使える福祉制度のてびき2007（全家連）」より抜粋。）

自立支援法のサービスについて

これまでは（自立支援法の前は）障害者の福祉サービスはすべて補助金によって運営されてきましたが、自立支援法では全国同じ水準であるべきサービスについては義務的経費として国と地方自治体が責任をもって負担しなければいけないことになりました。



※義務的経費とは？
国、地方自治体が、責任をもって負担しなければならない経費のこと

“自立支援医療受給者証”の更新は一年毎です！！
3ヶ月前から手続き出来ますので、早めに申請して下さい！！

編集後記
楽しかったデイキャンプを思い出しながら書きました。（T・K）さらに難しいことに挑戦したい。（M・T）ローマ字変換がむずかしかった。（H・S）他の人に教えてもらいながらやって覚えられました。（K・Y）パソコンの機能が凄いなと思いました。（H・T）パソコンの打ち方が難しいと思いました。（M・O）よくわからない。（T・H）